

国際化に関する懇談会の開催について

長野県国際課

- 1 日 時 平成 26 年(2014 年)1 月 31 日 (金) 午後 1 時 30 分から 3 時 30 分まで
- 2 場 所 長野県庁 議会棟 第 1 特別会議室
- 3 主 催 (公財) 長野県国際化協会及び長野県
- 4 参集者 有識者 11 名 (50 音順)

氏名	所属・役職
奥村明子	ジェトロ長野所長
土田暎子	信州大学工学部特任准教授
仁田知樹	駒ヶ根青年海外協力隊訓練所長
野原莞爾	綿半ホールディングス(株)代表取締役社長
野原 光	長野大学 学長
平林聖子	福源酒造(株)
藤巻 進	軽井沢町長
吉池達悦	日置電機(株)取締役会長

久世良三	(公財) 長野県国際化協会理事長、(株)サンクゼール代表取締役
池田防守	(公財) 長野県国際化協会相談役、(株)サンクゼール総務部長
野池明登	長野県観光部長

5 主な意見

(1) 外国籍の方も暮らしやすい社会にしていくためには？

- ・日本人は外国籍の方を受け入れることに慣れていない。
- ・異なるものを受け入れることや当たり前だと思っていることが、他の文化では違うことを体験することが大切。
- ・外国籍の方ともっと接触する機会を増やすことが必要。その際、「食」を絡めることが効果的。

(2) 長野県内の留学生の方に長野県の魅力をもっと知ってもらうためには？

- ・交流や支援を留学生に集中すると産業界や観光業界に広がりが見られる。
- ・在学中に長野についてブログを書いてもらうなど、長野県に関係することに携わってもらう。
- ・県内の中小企業の創業者の体験談を聞く機会があってもいい。
- ・県内農産品のモニタリングツアー等を企画してみてもいい。

(3) 日本の子供たちにもっと外国に目を向けてもらうためには？

- ・小中学生に外国籍の方が働いている職場を見学してもらいたい。
- ・一校一国運動をリニューアルし、一つの学校が一つの国を決めて交流することを検討しては。
- ・型にはまった教育のため、好奇心が欠如している。知的好奇心の活性化は、家庭・社会教育で取り組まなければならない。